

テーマ

地域産業を担う人材の確保・育成

## 人材確保・育成を一層進める事業継続とその充実が重要

### 島根県板金工業組合

メンバー間における事業目的やミッションの明確な相互理解、時代ニーズに即応した事業への迅速な取組み、事業推進の決定プロセスの簡素化などにより、事業活動に推進力がもたらされている。

#### 背景と目的

事業の目的設定の基本方向は、組合設立趣旨を踏まえての人材確保・育成をテーマに活動を行っている。その狙いは業界の信頼性向上のための組合員の資質および技能水準の向上、伝統的技術と技能継承による人材確保・育成である。

#### 事業・活動の内容

現在、当組合内に組織される「青年部」「島根県建築板金技能士会」「技能研究部会」を中心に分野や役割を担いながら、強調して事業活動を継続している。例えば、毎年初

秋に開催される「島根県技能祭（しまね技能フェスティバル）」では、銅板「へら出し」の体験コーナー、折り鶴などの同細工の展示即売コーナーを三部会合同で設置している。三部会ともに事務局責任者である國光洋志氏が全事業活動を推進するサポート役を担っている。個々の事業では、事務局を中心に実施主体の各部会および委員会の会長（委員長）を含む構成メンバーが事業活動を継続推進する。事業の目的や方向が相互理解されていることから、関わっているメンバーのミッションが明確であり、それぞれ効果をあげている。

今後の事業展開については、現在の事業活動の内容充実を図りながら、継続した実施を図る。しかし、現状のままでは高齢化や組合員減少による資金調達不足、マンパワー不足や組合内外へのアピール性低下は免れず、活動継続に向けては

組合員の組織力強化が欠かせない。組合全体の意識情勢と結束による組合体制の強化、早急な組合員の増員・確保、事業の実施主体である各部会や委員会の充実、事業資金の確保が必要とされる。

また、組合外の連携として、「しまねの家」研究開発事業をはじめ、住宅関連業界が一体となつてさらなる事業のレベルアップを図り、市場への浸透、建築全体のニーズの掘り起こしや促進課を推進していかねばならない。そのためには、行政、中央会などの一層の継続的支援が求められる。

#### 成果・効果

部会や委員会設立により始まった人材の確保・育成事業はまさに的を射た活動である。組合員の技術取得を図り、業界全体の信頼、安心性を高めつつ新たな人材確保と育成を目指すこの活動は、組合

内外に大きな波及効果をもたらした。その成功要因は時代ニーズに即応した事業への迅速な取組みと、事業推進の決定プロセスの簡素化によるものと考えられる。



▲板金技能講習会



▲島根県技能祭（しまね技能フェスティバル）

#### 島根県板金工業組合

住所：〒690-0017

島根県松江市西津田一丁目

9番50号

設立：昭和44年10月

出資金：979千円

電話：0852-24-2157

URL：http://www2.crosstalk.or.jp/bankin/

業種：建築板金業、板金加工業

組合員：110人